

# 池田・しぜんのたより

No. 396 (2025年7月20日)

五月山自然観察インストラクター連絡会

五月山都市緑化植物園

大阪府池田市五月丘5-2-5 Tel072-752-7082

## 2025年6月15日池田自然観察会レポート 五月山のキノコや虫たち

昨夜から降り続いた雨が残り、本日の観察会が実施出来るか不安な状況でしたが、開始の10時までには止むとの予報だったので行うことになりました。

ただ本日のテーマはキノコや虫たちなので、本当に出会えるか大変心配があります。と言うのも最近雨が少なく下見の折、キノコらしいキノコにあえませんでした。その上今日は開始直前まで雨が残り、さて昆虫類にも出会えることが出来るでしょうか？

大人5名子供4名の計9名とスタッフ5名の総勢14名で始まりました。初めの挨拶から本日は上記のような状況なので、キノコや虫だけにこだわらず目に付く観察対象は手当たり次第説明をしてゆきたいとの説明がありました。

緑のセンター横の芝生広場からスタートでひょうたん島コースへの予定で出発しました。早速子供がダンゴムシやクロオオアリ〈?〉を見つけてくれました。芝生広場の花壇に植栽されているタイタンビカスに交尾をしているラミーカミキリを見つけ、〈ラミーとは植物のカラムシの事〉背の模様からパンダカミキリとも呼ばれていることや、大きい方がメス、小さい方がオスとの説明がありました。

続いて糸状の赤花をたくさん付けているプラシノキについて、この木の実は何年も落ちず枝に残り、山火事があった時に初めて実が破裂して種が飛び散るという説明でした。ベンチにいるカタツムリを見つけ、数名の子供たちがカタツムリの触角に触れて遊びました。奥の方へ進みガクアジサイやイワガラミについての話もありました。アジサイの花の開花は装飾花ではなく、中央に沢山ある小さな花が開いた時がニュースで言う開花宣言です。

続いて五月山ハイキングコースへと進んで行きま

した。山の斜面にある地衣類（菌類と藻類が共生関係を結んで出来た複合体）から始まり、コケ植物、シダ植物、草本植物や木本植物へと進化して森が形成される過程の話がありました。

コースを進んで行くと子どもたちが次から次へと沢山のキノコを見つけてくれました。中にはキノコに大変興味を持っていて図鑑を真剣に見て、今日実物に会えることを楽しみにしているとのことでした。ベニタケの仲間（ニオイコベニタケ、ヤブレベニタケ）、ツチグリ（指でつついて胞子が出るのを確認）、ハナオチバタケ（子供が姿をみてアポロのようだと）ウマノケタケ、ウスバシハイタケ（枯れたサクラに）、ウスピラタケ、ハイイロナメアシタケ、大きな傘のアイタケやヒトクチタケ（マツの枯れ木に）などでした。割と沢山の種類に出会えたと思いました。



昆虫についてはやはり少なかったです。落ち葉の中にモリチャバネゴキブリ、シマサシガメ、スズメバチ、カノコガ、モンキアゲハ、コジャノメなど。

その他では、チョッキリムシによる落ち葉、コウガイビルやヤママユのまゆなど。

最後にまとめとして生産者、消費者という分類からキノコの大切な大きな役割についての話がありました。

（Y・O）



### ★池田の自然 街角の話題をお寄せください

FAX: 072-752-7401

E-Mail: [midoricenter@imsf.or.jp](mailto:midoricenter@imsf.or.jp)

(E-Mailがお勧めです)

（あて先） 池田市緑のセンター

# 池田の自然 街角の話題



7月1日10時頃、猪名川の植物の状況確認中に川の縁まで近づいたところ、キツネがこちらを向いてじっとしているのに出くわしました。猪名川でキツネを観たという話をよく聞いていたが、私は初めて観ました



(神田・大竹)

6月1日、室町の猪名川河川敷でヒガンバナ科のノビルの花が咲いていました。ノビルは花が咲かずにムカゴになることが多いですが、この株はきれいな散形花序になっていました。



また外来の園芸種で逸出したと思われる、アヤメ科のヒメヒオウギの花も見られました。

(桃園・阪上)

6月12日、スタッフから薦められたアジサイ寺、頬光寺に行ってきました。5分咲きくらいでしたが、色々な種類のアジサイがあつきれいでました！



アジサイだけでなく他の木もあり、素朴な野仏もあり、風情のあるいい感じのお寺です。

(菅原町・松本)



6月18日 猪名川での野鳥観察

朝からどんよりとした梅雨空で蒸し暑い朝です。6人が集まり定例の観察会となりました。猪名川はこのところの雨で水量が多く流れも速く水鳥にとって居心地の悪い川の様相で、チドリ、シギ類の水鳥は見られませんでした。ダイサギは先月に続いて今月も婚姻色を残し、

イソヒヨドリは2羽の若雄の兄弟でした。ハツカチヨウは大きなバッタのような獲物をくわえて何度も振り回していました。一気に食べるのは大きすぎたのか、それとも振り回して、弱らせて食べようという作戦なのか・・・。最後にトビとチョウゲンボウの空中戦ショーを見せていただきました



本日の観察範囲はビッグハープの橋脚付近から猪名川大橋下流の高木井堰迄。観察できた鳥は17種類でした。本日観察できた鳥；カルガモ、アオクビアヒル、アオサギ、コサギ、ダイサギ、カワウ、セグロセキレイ、カワセミ、イソヒヨドリ、ハツカチヨウ、ムクドリ、オオヨシキリ（声）、ツバメ、ハシボソカラス、トビ、チョウゲンボウ、スズメ

(小花・渡邊)

右のQRコードをスキャンすると  
しぜんのたよりのカラー版が見られます。



## ◆ 池田自然観察会のお知らせ ◆

\*8月のテーマ 余野川の生き物たち

\*と き 2025年8月17日(日)  
10時00分～12時00分

\*集合・解散 JA 北部 細河支店前

\*持 物 タオル、水筒、タモ網(あれば)

\*参 加 費 300円

\*指 導 五月山自然観察インストラクター連絡会

\*問い合わせ 池田市緑のセンター Tel 072-752-7082  
火曜日休館(祝日の場合は翌平日)